

問1 グローバル化にともない、世界の様々な地域との間で農産物や加工食品の貿易が活発化している。これにともない、輸出先の宗教的価値観や食文化への配慮が重要視されるようになった。例えば、西アジアや北アフリカ、東南アジアの一部などに多くの信徒をもつ宗教では、豚肉やアルコールなどの摂取が禁じられている。こうした地域や信徒に向けて食品を輸出・販売する際、その宗教の戒律に従って処理・製造された「許されたもの」であることを示す認証が必要となる。この認証や、それに基づいた食品を何と呼ぶか。（2024年 全国公立入試 類似）

1. ザカート                      2. ハラル                      3. サラート                      4. ハラーム

問2 高度経済成長期以降の日本において、都市の急速な発展に伴い、中心部の地価高騰や環境悪化を避けるため、人口や産業が都市の周辺部へと拡大・移動した現象を何というか。（2021年 全国公立入試 類似）

1. 郊外化                      2. 都市化                      3. 副都心                      4. 過密化

問3 ペルシャ湾岸の産油国では、豊富なオイルマネーを背景とした建設業やサービス業の急速な発展に伴い、労働力不足を補うために国外から多くの出稼ぎ労働者を受け入れている。特に、自国籍人口の割合が1割程度と極めて低く、人口の大部分を南アジアなどからの外国人労働者が占めることで知られる、ドバイやアブダビなどの首長国から構成される連邦国家はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. クウェート                      2. サウジアラビア                      3. カタール                      4. アラブ首長国連邦

問4 岐阜県高山市における中心部（旧高山市）と周辺の山間部・縁辺部の世帯特徴を比較したとき、中心部では利便性が高く人口密度が高い一方で、単身世帯や核家族世帯の割合が高いため、周辺地域に比べて低位（少なく）なる傾向にある統計指標は何か。（2018年 全国公立入試 類似）

1. 社会人口増減率                      2. 平均世帯人員数                      3. 自然人口増減率                      4. 合計特殊出生率

問5 東南アジアのカンボジア中央部に位置するトンレサップ湖の周辺では、雨季（浸水期）にメコン川からの逆流によって劇的な水位上昇が起こる。この急激な増水による浸水避けるため、周囲の集落で古くから採用されてきた、柱を非常に長く設計した伝統的な住居様式を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 洞穴式住居                      2. 高床式住居                      3. 平地式住居                      4. 竪穴式住居

問6 1990年の法改正により、ブラジルやペルーなどの日系人とその家族に就労制限のない在留資格が認められた。これにより、東海地方や北関東などの機械工業が発達した工業都市を中心に彼らの居住が急増することとなったが、この契機となった日本の法律は何か。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 障害者雇用促進法                      2. 出入国管理及び難民認定法                      3. 男女雇用機会均等法                      4. 高齢者雇用安定法

問7 ヨーロッパ諸国による植民地支配は、被支配地域の文化や社会に大きな影響を与えた。旧宗主国と旧植民地の間で主要な信仰宗教が共通している事例として、かつてスペインの支配を受け、現在もキリスト教のカトリックが広く信仰されている南米の国が挙げられる。この国はどこか。（2019年 全国公立入試 類似）

1. パラグアイ                      2. ベネズエラ                      3. アルゼンチン                      4. ウルグアイ

問8 南アジアを中心に信仰されているヒンドゥー教において、神聖な存在として崇拝の対象となり、その肉を食することが固く禁じられている動物は何か。（2013年 全国公立入試 類似）

1. 蛇                      2. 羊                      3. 豚                      4. 牛

問9 世界的な医療技術の向上や生活水準の改善、平均寿命の延伸を背景に、先進国・途上国を問わず世界全体でその数および割合が急増すると予測されている、65歳以上の年齢層を指す人口統計上の区分を何というか。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 老年人口                      2. 従属人口                      3. 就業人口                      4. 年少人口

## 答え合わせ・解説 No.1

問1	<b>答え 2</b> <b>ハラール</b>	イスラム教（イスラーム）では、信徒（ムスリム）が口にしていよいものと禁じられているものが戒律によって厳格に定められている。豚肉やアルコールなどは禁忌（ハラーム）とされる一方、戒律に従って適切に処理・調理された「許されたもの」はハラールと呼ばれる。グローバル化にともない、非イスラム圏からイスラム諸国への食品輸出や、ムスリムの観光客・移民の受け入れが増加する中で、ハラール認証を取得する動きが世界的に広がっている。
問2	<b>答え 1</b> <b>郊外化</b>	都市の規模が拡大するにつれて、中心部の居住環境悪化や地価高騰を背景に、人口や住宅地、商業施設などが都市の周辺部（郊外）へと拡大していく現象を「郊外化」と呼ぶ。これに対し、近年見られる山間部への移住や古民家改修などの動きは、都市周辺部への拡大ではなく、地方の農山村への移動であるため「田園回帰」に分類され、郊外化とは区別される。
問3	<b>答え 4</b> <b>アラブ首長国連邦</b>	ペルシヤ湾岸の産油国では、急速なインフラ整備や経済成長に対して自国の人口規模が小さいため、労働力を外国人に強く依存している。なかでもドバイやアブダビを擁するアラブ首長国連邦（UAE）では、総人口に占める外国人（特に南アジアからの出稼ぎ労働者）の割合が約9割に達しており、人口ピラミッドにおいて生産年齢人口の男性が極端に多い歪な形状を示すことで知られる。
問4	<b>答え 2</b> <b>平均世帯人員数</b>	高山市の中心部（旧高山市）は、利便性が高く人口密度が高い一方で、単身世帯や核家族世帯の割合が高いため、平均世帯人員数は低位（少ない）となる。これに対し、周辺の山間部や縁辺部では、三世代同居などの大家族世帯が残る傾向があるため、平均世帯人員数が高位または中位となる。
問5	<b>答え 2</b> <b>高床式住居</b>	カンボジアのトンレサップ湖周辺では、雨季（浸水期）に湖の水位が劇的に上昇するため、住居への浸水を防ぐ目的で柱を非常に長くした高床式住居が建てられている。渇水期にはこの高床の下が広い空き地となり、作業場や家畜の飼育スペースとして利用される。砂ぼこりを避けるためではなく、季節的な水位変動に対応するための合理的な工夫である。
問6	<b>答え 2</b> <b>出入国管理及び難民認定法</b>	1990年に改正された出入国管理及び難民認定法（入管法）により、日系2世や3世、およびその家族に対して、就労活動に制限のない在留資格（「定住者」など）が与えられた。この結果、労働力不足に悩む自動車や電気機械などの工場が集積する愛知県、静岡県、群馬県などの工業都市へ、ブラジルやペルーからの日系人労働者が多数来日し、定住化が進むこととなった。
問7	<b>答え 3</b> <b>アルゼンチン</b>	スペインの植民地であったアルゼンチンでは、宗主国の影響を強く受け、現在でもキリスト教のカトリックが広く信仰されている。一方で、イタリアの植民地であったリビア（イスラム教）、オランダの植民地であったインドネシア（イスラム教）、フランスの植民地であったベトナム（仏教など）のように、植民地支配を受けながらも旧宗主国とは異なる宗教が多数派を占める国々も存在する。
問8	<b>答え 4</b> <b>牛</b>	ヒンドゥー教では牛が神聖な動物として崇拝されており、その肉を食べることは禁忌とされている。これに対し、豚肉の摂取を忌避するのはイスラームやユダヤ教の特徴である。宗教ごとの食のタブーを正しく把握することが求められる。
問9	<b>答え 1</b> <b>老年人口</b>	医療技術の進歩や公衆衛生の改善、生活水準の向上により、世界的に平均寿命が延びている。これに伴い、65歳以上の年齢層である老年人口は、先進国だけでなく発展途上国も含めて世界全体で急増する予測となっている。なお、15～64歳は生産年齢人口、0～14歳は年少人口と呼ばれる。